

平成 25 年度事業報告書

公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボは、奈良の文化・歴史・地域産業等についての調査研究活動ならびに各種の文化教室・生涯学習講座および健康福祉の施設運営について広く地域社会に公開するとともに、地域の文化事業を支援することにより地域活性化に貢献することを目的としている。平成 25 年度事業実績は以下の通りである。

(A) 総括

1. 「からだの健康づくり講座」及び「こころの健康づくり講座」等に関する企画運営事業 ＜奈良ウェルネス倶楽部の運営＞

○ 通常講座運営

(講座状況)

【前期：4月～9月】 ・講座数 292 講座 ・講師数 147 名 ・受講件数 3,308 件

【後期：10月～3月】 ・講座数 287 講座 ・講師数 141 名 ・受講件数 3,181 件

※受講件数は各期末時点

(25 年度新設講座:39 講座開講)

骨盤エクササイズ、おやこヨガ、トレーニングジム、摘み菜ウォーキング、歴史探訪講座、デジタルカメラ画像編集、中高年から始めるらくらくピアノ、ボイストレーニング、たのしいマジック、はじめてのスマートフォン、本格そば打ち教室・健康マージャンなど

(受講生の募集活動)

【前期：4月～9月】

・地域情報誌「マイタウン奈良」1 頁全面広告 2/28 15.7 万部配布

(奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市)

・春期新聞折込募集チラシ 3/4 19.63 万部配布 (奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市)

・夏期新聞折込募集チラシ 6/3 19.63 万部配布 (奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市)

【後期：10月～3月】

・秋期新聞折込募集チラシ 9/2 16.6 万部配布 (奈良市、大和郡山市、生駒市、木津川市)

○ 吉本特別講座の開催

奈良ウェルネス倶楽部と吉本興業とのコラボレーションが前年度(H24年度)に引き続き2年目を迎える。人気芸人を講師に招き下記の特別講演を開催し、総勢 161 名が参加。

・4/13「ロザン流課外授業」講師 ロザン・・・96 名参加

・4/27「僕に勇気をくれたもの」講師 麒麟田村・・・65 名参加

- 特別講演・特別講座開催
 - ・「興福寺元国宝館館長が語る〈阿修羅とその時代〉」
・・・9月開催(場所 奈良ウェルネス倶楽部)
 - ・「奈文研研究員による食と生活の解説付き 宮廷料理を愉しむ会」
・・・10月・11月開催(奈良パークホテル)
- 第6回奈良ウェルネス倶楽部フェスティバルの開催(第44回奈良県芸術祭参加)
受講生による講座の相互交流の促進を目的に開催
 - ・期間：11月1日(金)～3日(日) 3日間
 - ・来館者数：997名
 - ・実施内容：作品展示32講座、発表会13講座、体験会18講座

2. 地域社会に貢献するための経済・政治・文化ならびに諸制度に関する調査研究

- 一町一村一まちづくり構想推進事業(下市町)
下市町平原における“まちづくり”を推進するため、地域におけるワークショップを開催し、現地の薬園(願行寺薬園)で栽培されていた薬草が江戸の小石川養成所に送られていた歴史と産業の掘り起こしを軸に、地域が取り組むテーマとして「薬草とハーブのむら『へいばら』まちづくり構想」をとりまとめた。
(平成25年10月 奈良県より受託 平成26年3月20日終了)
- SSL 機関紙「然」刊行
第二号：5月20日発行 特集「公益社団法人への移行」
第三号：12月20日発行 特集～林業・建築業の現状と課題～「木の文化」の未来

3. 伝統的日本文化の行催事等慣習・風俗・歴史の研究・保存・伝承並びに地域の行催事支援

- なら芝能 協賛支援
芝能は特別に舞台を設けず、自然そのものを舞台として演ぜられる全国的にも珍しいし初源的演能であり、芝居の語源にもなっている。毎年、奈良県庁正面玄関芝生ひろばにおいて、伝統の継承を目指している「NPO法人奈良能」に、奈良の伝統文化保存と継承のため協賛した。
(平成26年3月22日)
- 東北3県の販路開拓支援事業
全国商工会連合会の「地域力活用市場獲得支援事業」について東北3県復興支援事業をテーマとする提案が平成25年8月に採択され、急遽大阪西梅田において、250席の屋外仮設店舗を設営して市場開拓した。奈良を拠点に活動する公益社団法人SSLは、平成23年3月東日本大震災

以降に、前川井理事長が奈良と東北は万葉の時代から「相聞往来」があるとし、東北の「復興食堂」経営について、奈良市内で支援開催するなど、ボランティア活動に取り組んできた経緯があり、東北3県の広域に及ぶ市場開拓事業について特別に指名されたことによる。

<事業概要>

- 1、事業名：「東北わくわくマルシェ」
- 2、日 時：平成25年12月13日～26年2月23日
- 3、場 所：大阪西梅田スクエア(旧大阪中央郵便局跡地)
- 4、事業規模
 - ① 来場者 75,000名
 - ② 購買実績 75,000千円
 - ③ 東北の参加企業数 200企業

4. ウェルネス倶楽部の施設自己所有について

倶楽部の自主・自立運営と経費節減を確保するために、施設の土地建物を自己所有することとした。

- 1、土地：1621.16㎡
- 2、建物：(鉄筋コンクリート造 銅板葺4階建)
- 3、取得金額：255,184,000円
- 4、資金調達：南都銀行・商工中金から総額2億5000万円借入

5. 寄付金、協賛金等

社団法人の事業運営については、奈良ウェルネス倶楽部の事業を厚生労働省所管の旧なら社会保険センターから継承した平成19年設立以来、継続して支援いただいている法人より、平成25年度は2千万円の寄付金を受領した・

(B) 会議等

平成25年度

- 4月25日 講師運営委員会(第1回：講座新設と運営)
- 5月21日 社員総会・理事会(平成24年度事業報告・決算報告/平成25年度事業計画・予算)
- 10月5日 理事会(平成25年度上半期活動報告・下半期活動計画(東北3県販路開拓支援事業))
- 10月24日 講師運営委員会(第2回：講座料金の改定：消費税8%対応等)
- 12月8日 奈良ウェルネス倶楽部講師全体打合せ会(講座料金の改定他)
- 1月15日 理事会(経営革新等支援機関の申請並びに定款変更・施設取得、資金調達他)
- 3月30日 理事会書面決議(平成26年度事業計画・収支予算承認)

(C) 会員数

平成25年3月31日現在

個人会員	35名(38口)
法人会員	10名(37口)
計	45名(75口)

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので附属明細書は作成しておりません。

以上